Engineer

Markdown

少数の記号で書式を示すプレーンテキスト

どのようなものか

Markdownは、文書を普通のテキストファイルとして書く方法です。強調する語をアスタリスクで囲む、見出しの前にハッシュ記号を置く、箇条書きの各項目をハイフンで始める、リンクに角括弧と丸括弧を続けるといった、少数の書き方が、どのHTMLを作るかを変換器に伝えます。名前は、構文と、最初に公開された変換プログラムの両方を指します。ファイルの拡張子は、通常 `.md` か `.markdown` です。CommonMarkやGitHub Flavored Markdown（GFM）など、後から生まれた方言も、Markdownと呼びます。

John Gruberが2004年にAaron Swartzと協力して開発し、最初の変換器をPerlで書きました。最終リリースMarkdown 1.0.1の日付は、2004年12月17日です。掲げた最優先の目標は、読みやすさでした。文書は、普通のテキストのまま公開でき、タグや書式命令でマークアップしたようには見えないものにすべきだと考えていました。構文に最も大きく影響したのは、既に使われていた、プレーンテキストの電子メールの書式だと書いています。構文にないものは、切り替えや区切り記号なしに、文章の中にHTMLを書きます。彼の考えでは、Markdownは書く形式、HTMLは公開する形式だからです。

数行で、大半が分かります。

```
移行は**一晩**、手順は三つでした。

- 書き込みを止める
- `pg_dump`でデータをコピーする
- [アプリケーション](https://example.com/app/)の接続先を新しいホストにする
```

変換器は、これを、 `strong` 要素のある段落、三項目の一覧、インラインのコード、リンクに変えます。元の文章は、誰かが入力したメモとして、そのまま読めます。

概念を判断に生かす

「Markdownとは？」を実際の判断に生かしましょう。その概念を、開発または購入するシステムに結び付けて考えるお手伝いをします。 表示が速く、検索で見つけやすく、文章を変えるたびに料金が発生せず、自社の担当者が編集できるサイトをつくります。

サービスを見る お問い合わせ →

用語の背後にある前提を検証する

解説とリンク先の実績を参考に、プロジェクトについての質問を整理してください。ツールを選ぶ前に、前提を一緒に検討できます。 HTML/HTML5でWebアプリケーション100個を開発 — 100 構築したWebアプリケーション

HTML/HTML5でWebアプリケーション100個を開発 お問い合わせ →

なぜ重要なのか

ソース自体が文書であり、普通のテキストは、周りのどの道具より長く残ります。Markdownファイルは、どのエディターでも開け、版管理で行ごとの差分を比べ、プルリクエストでも明確にレビューできます。提供元が形式を廃止することはできず、まとまった文章を別のシステムに移すには、ファイルをコピーするだけです。

代価は、曖昧さです。CommonMarkプロジェクトは、Gruberの説明は構文を一意に定めず、スクリプトには不具合があり、最後の更新も2004年12月だったため、2014年には、何十もの実装が、それぞれ違う方法で隙間を埋めていたと明言します。例は、GitHubのwikiと、PandocでDocBookに変換した場合とで、別の形になる文書です。Markdownは、どの入力も構文エラーとして拒否しないので、違いは、誰かが出力を見て初めて分かります。同プロジェクトは、同じ入力を二十を超える実装に通し、一致するかを見るBabelmark 3を挙げます。

2014年に始まったCommonMarkは、John MacFarlaneの仕様で応えます。規則ごとに、入力と、それが出すべき正確なHTMLの例を結び付けます。2024年1月28日付の0.31.2には、652例あります。GitHubは、独自の方言GFMをCommonMarkの厳密な上位集合と定義し、表、タスクリスト項目、取り消し線、拡張した自動リンク、少数の生HTMLタグを無効にするフィルターを加えます。HugoのMarkdown変換器Goldmarkは、CommonMark仕様に準拠し、GFMにも対応します。

通信上の名前もあります。2016年3月のRFC 7763は、構文の系統全体に `text/markdown` を登録しました。 `charset` は必須で、ファイルがどの方言かを表す `variant` パラメーターは任意です。

実際の活用例

このサイトで手作業で作成するページはMarkdownで、Goテンプレートが配置を決めます。クレジットのページは、両方を静的サイト生成器Hugoと並べ、ページを作る道具として挙げます。同じページには、ソースの正しさを保つリンターとしてmarkdownlintも載せています。すべての診断をエラーとする品質ゲートの一部です。

AIエージェントに読めるサイトにするページは、形式を逆向きに使います。ここのすべてのページには、同じアドレスにMarkdown版があり、`index.md` を足すか、`text/markdown` を要求して取得します。ビルドは、すべてのMarkdown版に不要なマークアップが残っていないかを読み、間違いがあれば公開を拒否します。そのページのMarkdown版も、一回のリクエストで取れます。

```
curl -sL https://engineer.company/ja/ai-ready/index.md
```

約50,000語のソフトウェア文書を、GitHub、Craft、ConfluenceでMarkdownにし、多くを人の手で執筆しました。何度も質問されていたアーキテクチャー、手順、使い方を扱い、版管理し、見つけられる状態に保ち、新しく入った人が早く仕事を理解できるようにしました。

問題が起きるところ

太字がアスタリスクのまま表示されます。 太字にするはずの語の両側に二つずつアスタリスクが見えても、HTMLは正しく、リンクも動くため、検査はすべて成功します。CommonMarkは、開始側の条件（left-flanking）を満たすアスタリスクの並びでのみ強調を開始します。その並びの直後に、リンクの角括弧のような句読記号が続く場合は、並びの直前に空白か句読記号がある場合だけです。前に文字があると、アスタリスクはそのまま残ります。Markdownを解析する前に、テンプレートエンジンが置いたものも同じです。Hugoは、ショートコードを、英数字の仮の文字列に置き換えます。このサイトのMarkdown版テンプレートには、ショートコードと隣の太字の間の空白を消したことで、三言語の60項目の太字が壊れた記録があります。空白を保ち、ソースではなく表示したページを確認します。このサイトの品質ゲートは、ビルドしたHTMLを読み、Markdownが記号のまま読者に届いていないかを検査します。

同じファイルが、二通りに変換されます。 入れ子の一覧が、一方で平坦になり、他方では入れ子のままだったり、行頭のハッシュ記号が、一方で見出しになり、他方では文字のままだったりします。Markdownには報告すべき構文エラー

がないので、何も知らせません。原因は方言の違いで、二つの変換器が、元の曖昧な箇所を違う方法で埋めています。使う方言を明記します。多くはCommonMarkかGFMです。それに従わせるリンターを使い、不確かな入力は、頼る前に複数の実装に通します。

ページのMarkdown版に、HTMLが入ります。 テキスト版の読者が、生の `svg` 要素や、先頭のプラス記号が数値文字参照になった電話番号に出会います。Webページ用のHTMLを出す部品は、別の指示がなければ、ほかのすべての形式にも同じHTMLを出します。Hugoは、出力形式別にショートコードのテンプレートを探し、なければHTML版を使います。このサイトのショートコードテンプレートは、両方の事例を記録します。クレジットのMarkdown版の生の `svg` 要素49個と、HTML用にエスケープされた連絡先ページの電話番号です。今は、マークアップを出すショートコードに、Markdown出力専用のテンプレートを用意します。品質ゲートは、コードを除き、Markdown版に生のHTMLもHTML実体参照も含まれないことも確認します。

生のHTMLがページから消えます。 Markdown内のHTMLブロックが、ソースは正しそうなのに、ビルドしたページにはありません。Gruberの構文は、文章のどこにでもHTMLを置けますが、変換器は拒否できます。HugoのGoldmarkの `unsafe` は既定で無効なので、Markdownに混ぜた生HTMLは表示されません。GFMは、 `script` や `iframe` など、少数のタグをエスケープし、文字として表示します。代わりに、Hugoならショートコードや描画フックなど、生成器の機能を使うか、設定を意図的に有効にし、通すものを受け入れます。

リンターは、無視するよう指示されたものを通します。 構造の壊れたMarkdownが、markdownlintの指摘なしにレビューを通ります。検出するはずの規則が設定で無効になり、理由も書いていません。このサイトの開発規則には、以前、markdownlintの設定に、コメントなしで六つの規則を無効にしたJSONファイルを使っていたことと、六つを調べると、二つが実際の不具合を隠していたことが記録されています。無効にする規則の横に、コメントを書ける形式で理由を残します。次の人が、その理由に異議を唱えられるようにするためです。

参考資料

- CommonMark仕様 — 規則ごとに、入力と、それが出すべきHTMLの例を結び付けた仕様です。
- CommonMark — 仕様が必要になった理由、実装が分かれた経緯、保守する人々です。
- John GruberのMarkdown — 最初の説明、設計目標、Perlスクリプトです。

- Markdownの構文 — インラインHTMLの規則を含む、Gruber自身の構文説明です。
- GitHub Flavored Markdown仕様 — CommonMarkの上位集合としてのGitHubの方言で、拡張をそれぞれ示します。
- RFC 7763：text/markdownメディア型 — メディア型、必須の `charset` 、 `variant` パラメーターです。

用語集

実際の制約に合わせて選ぶ

業務の流れ、既存のインターフェース、変更を必要とする利用者をお知らせください。検証可能な納品内容と、お客様のチームが保守を続けられる引き継ぎ内容を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

用語を実務に結び付ける

「Markdownとは？」がお客様の組織にどう当てはまるかをご相談ください。現在のシステムの具体例が一つあれば、話を始められます。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://engineer.company/ja/glossary/markdown/